

## 久留米市域から排出される温室効果ガスについて(令和 3 年度)

## 1 久留米市地球温暖化対策実行計画の目標

2030(令和 12)年度に 2013(平成 25)年度比 50%削減

基準年度(2013)

2,547千t-CO<sub>2</sub>

目標年度(2030)

1,273千t-CO<sub>2</sub>

## 2 久留米市の温室効果ガス総排出量について

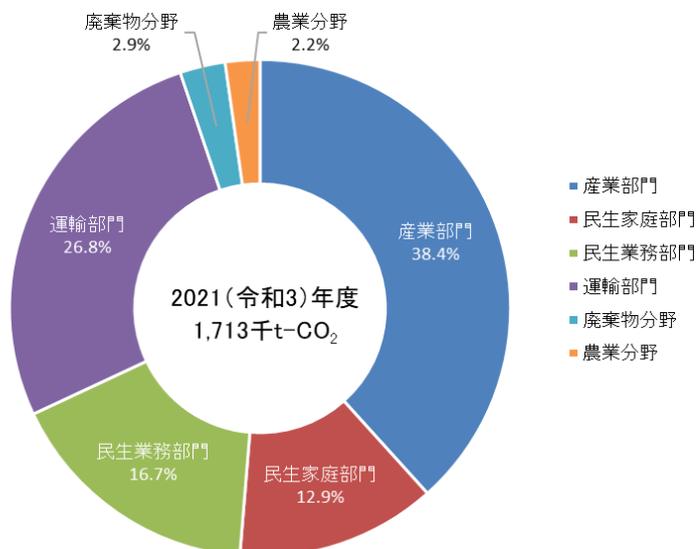
2021(令和 3)年度:171 万 3 千 t-CO<sub>2</sub> (基準年度比 32.8%減少)

(前年度比 4.7%減少)

温室効果ガス総排出量の推移



部門別排出量の割合



### 3 部門別の温室効果ガス排出量の比較

(千t-CO<sub>2</sub>)

	2013(基準年度)	2020	2021(報告年度)	基準年度からの増減要因
産業部門	922	643	657	省エネ等によるエネルギー消費量の減少
(基準年度比)		-30.3%	-28.8%	
(前年度比)			2.2%	
民生家庭部門	433	266	222	省エネ等によるエネルギー消費量の減少及び電力のCO <sub>2</sub> 排出係数の改善
(基準年度比)		-38.6%	-48.8%	
(前年度比)			-16.6%	
民生業務部門	533	326	286	省エネ等によるエネルギー消費量の減少及び電力のCO <sub>2</sub> 排出係数の改善
(基準年度比)		-38.9%	-46.3%	
(前年度比)			-12.2%	
運輸部門	574	474	459	自動車台数に占める電動車や軽自動車の増加
(基準年度比)		-17.4%	-19.9%	
(前年度比)			-3.1%	
廃棄物分野	51	51	50	
(基準年度比)		0.4%	-0.8%	
(前年度比)			-1.1%	
農業分野	34	38	38	
(基準年度比)		11.7%	11.8%	
(前年度比)			0.0%	
合計	2,547	1,797	1,713	
(基準年度比)		-29.4%	-32.8%	
(前年度比)			-4.7%	

#### 4 基準年度と比較した温室効果ガス総排出量の減少要因について

基準年度と比較した温室効果ガス排出量の減少要因については、産業部門における省エネ等によるエネルギー消費量の減少や民生部門での電力使用量の減少、電力のCO<sub>2</sub>排出係数の改善です。

ただし、前年度との比較では、産業部門の排出量が2.2%増加しています。これは、新型コロナウイルス感染症で落ち込んでいた経済の回復等により、製造業のエネルギー消費量が増加したことが主な要因です。なお、民生業務部門においても、同様の理由によりエネルギー消費量は増加していますが、電力のCO<sub>2</sub>排出係数の改善により温室効果ガス排出量の増加には至っていません。

#### 5 エネルギー消費量の推移

2021(令和3)年度の久留米市のエネルギー消費量は22,034TJであり、基準年度比で14.8%減少したものの、前年度比で1.1%増加しました。

前年度比での増加は、新型コロナウイルス感染症で落ち込んでいた経済の回復等により、製造業や民生業務部門でエネルギー消費量が増加したためです。

部門別エネルギー消費量の推移

